

事業番号 2023 - 文科 - 22 - 0303

令和5年度行政事業レビューシート				(文部科学省)			
事業名	ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム		担当部局	研究振興局	作成責任者		
事業開始年度	平成元年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	研究振興戦略官付	研究振興戦略官 大月 光康	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法		関係する 計画、通知等	ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)メンバー会合(令和元年7月) 健康・医療戦略(第1期:平成26年7月22日閣議決定、平成29年2月17日一部変更、第2期:令和2年3月27日閣議決定、令和3年4月9日一部変更) 医療分野研究開発推進計画(第1期:平成26年7月22日健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月17日一部変更、第2期:令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定、第3期:令和3年4月6日健康・医療戦略推進本部決定) 「統合イノベーション戦略2020」(令和2年7月17日閣議決定) 「バイオ戦略2020(基本的施策)」(令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定)			
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応		主要経費	科学技術振興費			
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-29.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	医療・ライフサイエンス分野の研究開発及びその環境の整備、研究機関における医療分野の研究開発及びその環境の整備に対する助成等を行うことで、革新的な医薬品・医療機器等の実用化を促進し、健康長寿社会の形成を目指す。そのために、本事業において、生体の持つ複雑な機能の解明のための基礎的な国際共同研究などを推進し、その成果を広く人類全体の利益に供することを目的としている。						
現状・課題 (5行程度以内)	これまでに約4,400名の研究者に対して研究グラント支援、約3,400名の若手研究者に対してフェローシップ助成を実施しており、研究グラントの支援を受けた研究者の中から28名のノーベル賞受賞者が輩出されるなど、国際的に高い評価を受けているプログラムである。17カ国・極がプログラムに参加している中で、日本は約950人の研究者が研究グラントまたはフェローシップを受賞するなど世界有数の受益国となっており、国際共同研究を通じて新たな技術の創出・社会への還元につながる実績を上げている。その一方、近年は日本人応募者数・採択者数ともに伸び悩んでいることや、外国人研究者が本フェローシップを利用して日本の機関で研究を行うケースが少ないことなどが課題として挙げられ、こうした状況の改善や国内での更なる活用の促進を図る必要がある。このため、国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構事務局と文部科学省をはじめとした国内関係者が連携し、国内応募者数の増加に向けて、日本人研究者及び国内研究機関に対して本事業の認知度を高める取組を実施している。						
事業概要 (5行程度以内)	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構(国際HFSP機構/HFSP、事務局はフランス・ストラスブールに所在)が行う以下助成事業に必要な資金を、日本を含む17カ国・極から拠出する。日本の拠出金については、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)を通じて拠出する。全額を拠出に充てるため、補助率は定額補助としている。 (1)研究グラント:2カ国以上のメンバー国の研究者を代表者とする国際共同研究チームを対象として助成。助成期間は3年間で、年間の助成額は最大45万ドル。 (2)フェローシップ:メンバー国の若手研究者が海外の優れた研究室において研究活動を行う際の支援。生活費等を3年間(1年まで延長可)助成。						
事業概要URL	・国際HFSP機構のウェブサイト(英語)https://www.hfsp.org/ ・AMEDのHFSP関連ウェブサイト(日本語)https://www.amed.go.jp/program/list/20/02/001.html						
実施方法	補助						
補助率等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施するヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラムについて、当該経費の補助を行うもの【補助率:定額】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
		当初予算(A)	1,847	1,847	1,847	1,847	1,847
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	1,847	1,847	1,847	1,847	1,847
		執行額(G)	1,847	1,847	1,847	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	100%	100%	100%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	100%	100%	100%	-	-
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究開発推進費	-	-			
	(目)	医療研究開発推進事業費補助金	1,847	1,847			
		その他	-	-			
	計(A)	1,847	1,847				

活動内容① (アクティビティ)	生命科学分野の研究推進に向けた研究 Grant 及びフェローシップの支援を行うにあたり、事業の促進・普及に関連した会議等に積極的に参加または開催することで、国際 HFSP 機構と密に連携するとともに、国内での更なる認知度の向上を図り、日本人研究者または日本で研究を行う外国人研究者の応募者数及び受賞者数の増加を図る取組を行っている。								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	事業の普及・促進に関連して開催される会議等の件数を維持・増加させる。	事業の促進と普及に関連して開催される会議等の件数	活動実績	件	23	22	24	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	28	24
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	事業の認知度向上等に伴い、日本の研究者の応募者数の増加が期待される。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
	研究 Grant・フェローシップへの日本の研究者の応募者数を増加させる。	研究 Grant 及びフェローシップへの日本の研究者の応募者数(両事業の合算)	成果実績	人	176	161	121	-	
			目標値	人	-	-	-	153	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	国際 HFSP 機構の Annual report から引用。 目標値は、該当年度の直近過去3年間の応募者数の平均値とした。								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	日本人研究者または日本で研究を行う外国人研究者の応募者数増加に伴い、日本人研究者または日本で研究を行う外国人研究者の受賞者数の増加が期待される。							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 14 年度	
	日本人研究者または日本で研究を行う外国人研究者の研究 Grant・フェローシップの受賞者数を増加させる。	日本人研究者または日本で研究を行う外国人研究者の研究 Grant・フェローシップの受賞者数(両事業の合算)	成果実績	人	13	9	10	-	
			目標値	人	-	-	-	15	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	国際 HFSP 機構の Annual report を参照。 目標年度は、2023年6月27日に策定された「HFSP Strategic Plan 2024 - 2032」の最終目標年度とした。 目標値は、現在の事業形態が始まった2005年から、日本の研究者の応募者数・採択者数を増加させるためのアクションプランの策定年である2022年までの受賞者数の平均人数とした。								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
	-								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定 等	名称	健康・医療戦略(令和2年3月27日閣議決定、令和3年4月9日一部変更)、医療分野研究開発推進計画(令和3年4月6日健康・医療戦略推進本部決定)							
	URL	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/senryaku/index.html							
	該当箇所	-							

資金の流れ
 (資金の受け取り先が
 何を行っているかにつ
 いて補足する)
 (単位: 百万円)

文部科学省
 1,847百万円

【補助金等交付(定額)】

A. (研)日本医療研究開発機構
 1,847百万円

事務費
 ①人件費: 35百万円
 ②諸経費: 16百万円

〔国際HFSP機構への拠出等〕

【拠出金】

B. 国際ヒューマン・フロンティア・
 サイエンス・プログラム機構
 1,796百万円

〔国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス〕

費目・使途
 (「資金の流れ」におい
 てブロックごとに最大の
 金額が支出されている
 者について記載する。
 費目と使途の双方で実
 情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム 機構への拠出金	1,796	事業費	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログ ラム機構における活動	1,796
事務費	人件費・諸経費	51			
計		1,847	計		1,796

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	9010005023796	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構への拠出	1,796	補助金等交付	-	-	
2	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	9010005023796	国立研究開発法人日本医療研究開発機構の事務	51	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構	-	国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構における活動を行う(拠出金)	1,796	その他	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	